

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに

The 19th International Congress of Cytology (ICC2016)

開催概要

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに The 19th International Congress of Cytology (ICC2016) を下記の要領で開催させていただきます。本邦における ICC 開催は 1998 年以來で 3 度目であり、第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）との同時開催とさせていただきます。会期、会場に加えまして key dates が下記のごとく決定いたしました。現在、学会プログラム委員会からの提案をもとに魅力あるプログラムを作成しておりますので、今後本誌およびホームページを通じまして皆様にお知らせしてまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、日本学術会議との共同主催が決定しましたので併せてお知らせいたします。

会期：

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：2016 年 5 月 27 日（金）～5 月 29 日（日）

ICC2016：2016 年 5 月 28 日（土）～6 月 1 日（水）

会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL：045-221-2155 FAX：045-221-2136

会長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

テーマ：New Innovative Technologies Changing Cytology

共同主催：日本学術会議

ホームページ（ICC2016）<http://www.cytologyjapan2016.com/>

プログラム委員長：進 伸幸（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

事務局：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

富永 英一郎 (事務局長)
運営事務局：株式会社コングレ
〒102-8481 東京都千代田区麴町 5-1
TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552
E-mail：icc2016@congre.co.jp

演題登録について

演題登録開始 (ICC2016)	2015 年 9 月 10 日
(第 57 回春期大会)	2015 年 10 月 20 日
演題登録締切 (ICC2016)	2015 年 12 月 10 日
(第 57 回春期大会)	2015 年 12 月 24 日

参加登録について (インターネットによる登録)

参加登録開始	2015 年 10 月 15 日
早期参加登録締切	2016 年 4 月 15 日
事前参加登録締切	2016 年 5 月 19 日

1. ICC2016 および第 57 回日本臨床細胞学会春期大会の共通参加証を発行いたします。それぞれの学会参加証は発行しません。
2. インターネットによる参加登録を推奨しております。
3. 事前参加登録締切を過ぎると参加当日の登録になります。
4. 早期参加登録費はそれ以外の参加費と異なりお安くなります。
5. 医師以外の会員向けに one day チケットを発行します。各個人に 1 回のみ発行となります。

以上につきまして詳細は大会 HP をごらんください。

宿泊について

宿泊申込み開始	2015 年 9 月 28 日
宿泊申込み締切	2016 年 4 月 28 日

【特別講演等】

ICC 2016

<plenary lecture>

David Kaminsky (Palm Springs Pathology Services, USA / 米国細胞病理 学会元

会長)

『Practice of cytopathologist, at FNA Clinic : A new approach for patients』

Marshall Austin (University of Pittsburgh, USA)

『Cervical cancer screening』

<keynote lecture>

Andrew Field (St Vincent's Hospital, AUS)

『Fine needle aspiration cytology』

Fernando Schmitt (University of Toronto University Health
Network/Toronto General Hospital, CAN)

『Topics in the diagnosis of breast cancer』

<presidential guest lecture>

John Doorbar (University of Cambridge, UK)

『Biology and clinical significance of HPV』

Olli Kallioniemi (Institute for Molecular Medicine Finland (FIMM), FIN)

『Systemes medicine approach in leukemias and solid tumors』

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)

<特別講演>

河上 裕 (慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所)

『抗腫瘍免疫 Update』

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)

The 19th International Congress of Cytology

会長 (Congress President) 青木 大輔